



◆盆踊り大会  
日時 八月一日(金)～三日(日)  
時間 午後七時～九時  
場所 龍雲寺環七駐車場

募集中

詳しくは龍雲寺まで  
お早めにお申し込み下さい。

◆第九次 妙心寺と五山送り火の旅  
八月十五日(金)～十七日(日)

◆第二次 坂東三十三観音巡礼②  
十月二十七日(月)～三十日(木) 満願の旅

◆無相教会花園流御詠歌会員募集  
九月 九日(木)・十月 九日(木)  
十一月十三日(木)・十二月二十五日(木)

男性・女性どちらでも可  
会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習(不定期)。男性もどうぞ。  
○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かつぱれ・ヨーガ・ピラティス等があります。

◆早朝洗心坐禅会(申込不要)  
毎週日曜日 朝六時半～八時半  
会費 無料  
坐禅用のイスもご用意しています。

◆写経会(申込不要)  
毎月第二土曜日 一時～四時  
(但し、七月、八月はお休み)  
納経料は 一巻五〇〇円(龍雲寺に納経)  
来られない方は、お写経をお渡しいたしますのでご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。  
イス席もご用意しています。

◆第十一回 天満敦子ヴァイオリン・コンサート

日時 十月四日(土) 午後三時～  
会費 三千五百円(当日集金)  
会場 龍雲寺本堂(椅子席)  
三時から整理券配布  
お申し込みはFAX/電話・お葉書で。定員になり次第締め切ります。お抹茶・虎屋さんのお菓子・笹寿司をご用意しております。

編集後記

○皆様いかがお過ごしですか? ○六月は、犬山で晋山式、翌日は福島で結婚式と幸福な忙しさでした。お仲人等で三十回近く着た留袖は毎回記念写真で同じ着物では………と思いましたが呉服屋さんにも、こんなに沢山着て貰える留袖はありませんと云われ仕立て直しをして着ています。この留袖は今まで一度も雨に降られた事ありません。亡母が季節を選ばず長く着られるようにと、光琳の芝垣の柄を選んでくれました○五山送り火の旅で、ご本山妙心寺法堂での、お精霊送りや送り火は、新盆を迎える方や、ご先祖供養をされる方はぜひ、ご参加下さい。毎回参加されている方も○境内に、ねじり草が沢山咲いています。可愛い可憐なピンクの花で、お花をご覧になった方々から感動したと言われ嬉しく思いました○無相教会花園流の御詠歌の試験を本山で受験。おかげさまで準講師一級に合格しました。龍雲寺支部は五十名の会員さんがいます。興味のある方は、ぜひ見学いらして下さい○盆踊りは、お盆の供養の踊りです。子ども会の朝練や大人の夜の練習を本堂で行っています○これから五山送り火・第八次四国八十八ヶ所巡拝・第二次坂東・台湾の三十三観音巡礼と旅が続きます○葎崎大村美術館所蔵の私の絵が六月中旬迄展示されていました。これからは絵を描く時間を持ちたいです○早朝坐禅会・写経会等に多勢の方々来られています○蒸し暑い日が続きます。熱中症にも十分お気をつけ下さい。山内一同おかげさまで元気になっています。お身体大切に。 要子

龍雲寺 花園会報

二〇一四年 お盆号 監修/細川 晋輔 編集/細川 要子

○妙心寺 URL <http://myoshin.com/>  
○龍雲寺 URL <http://homecatv.ne.jp/r/ryuunji/>

〒一五四一〇〇三三  
東京都世田谷区野沢三三三八一

TEL〇三三三四二一〇二三三八  
FAX〇三三三四一八一九八六三

いよいよ暑い夏がやってきました。龍雲寺でも「お盆の棚経」や「盂蘭盆施餓鬼会」、「盆踊り」という大きな行事を控え、その準備に明け暮れております。

その中でも七月十七日に行っております「盂蘭盆施餓鬼会」といものは、調べてみますと、はるか昔、聖徳太子の時代から行われているそうで、「盂蘭盆」の由来にはこのようなお話があります。

お釈迦様には十大弟子と呼ばれる十人の優秀なお弟子さんがあり、その中でも「神通第一」と呼ばれ、神通力(超能力)が得意な目蓮尊者という方がおられました。

目蓮尊者はあるとき、亡くなった自分の母親が何をしているかふと気になり、神通力で覗いて見るとにしました。するとお母さんは餓鬼道にいて、骨と皮ばかりにやせ衰えていました。それを不憫に思った目蓮尊者は、得意の神通力を使って、水や食べ物や器に盛り、お母さんに差し出します。しかし、お母さんが食べようとすると、その食べ物や水は炎に変わってしまい、食べることができません。

目蓮尊者は悲嘆のあまり号泣し、お釈迦様の廻へ行き、ありのままにお話ししました。お釈迦様は「お母さんを助けようとするのに、いくらおまえの神通力でも通用しない。多くの出家者を修行一区切りする七月に供養すれば、お母さんに供

新命住職 細川 晋輔

養を届けることができるよ。」とおっしゃいました。そこで目蓮さんは、教えられたとおりに棚をつくり、お供え物をしました。そして沢山のお坊さんを集めて供養をしました。これはただ一人、自分の母親だけを助けようとしても救うことが出来な。悩み苦しんでいる沢山の人々を救おうとして、初めて自分の母親が救われるという教えです。

その後、目蓮尊者がお母さんを神通力で見てみると、その供養の甲斐があつて餓鬼道から救われていたそうです。そして、目蓮尊者は嬉しさのあまり踊り出し、それが「盆踊り」のはじまりだと云われています。

「あまねく一切のもののためにご供養する」というこの行事。みなさんにおかれましても、一体何ができるかを考えて頂くきっかけとなつて下されば幸いです。

是非この由緒ある、「盂蘭盆」と「盆踊り」という行事、ご参加下さい。

盂蘭盆施餓鬼会

平成二十六年七月十七日(木)  
於・龍雲寺本堂  
十一時 御詠歌奉詠  
十一時三十分 法話  
正午 法要

※お食事を用意しています。皆様おそろいでお参り下さい。申し込み不要。

行事予定

- 七月 十七日(木) 施餓鬼会
- 八月 一日(金)～三日(日) 盆踊り大会(環七駐車場)
- 八月 十五日(金)～十七日(日) 第九次妙心寺と五山送り火の旅
- 九月 二十三日(火) 彼岸会
- 十月 四日(土) 第十一回天満敦子バイオリンコンサート
- 十月 十五日(水)～十七日(金) 全国奉詠大会
- 十月 二十七日(月)～三十日(木) 第二次坂東三十三観音巡礼②
- 十一月 十七日(月)～二十一日(金) 台湾三十三観音巡礼
- 十二月中旬 龍雲寺子ども会 餅つき大会
- 十二月三十一日(水) 除夜の鐘
- 一月 七日(水) 大般若会

# 妙心寺派東京教区花園会 大本山奉仕団参の旅

— 妙心寺作務奉仕および大徳寺、  
伊勢神宮参拝の旅 —

第一日目、団参は総勢一三八名にも上り龍雲寺からは四八名の参加者でした。妙心寺に到着後十四時から開会式・記念撮影、作務を行いました。作務はグループ毎に山門、仏殿、法堂、大方丈の床や、柱を拭き掃除しました。私たちは「法堂」の割り当てとなり、管長様が説法をする法座の下で堂内のお掃除をし、天井の「八方睨みの龍」に見惚れながら作務を終りました。また、薬石（夕食）後に塔頭・退蔵院様の夜桜見学があり、ため息が出るほど美しい世界を鑑賞させて頂きました。

第二日目、五時半起床、六時から法堂に入り坐禅。七時から嶺興嶽管長の歓迎の辞と法話が有りしました。朝食は「粥座」というお坊さんの食事作法を体験し、朝食後は、妙心寺の広い境内や浴室、黄鐘調の鐘の辺りを掃除して作務が終了。それから、妙心僧堂（修行道場）を新命さんに案内して頂きました。紫野の大徳寺見学では、山門の金毛

閣に特別に登らせて頂き、秀吉から切腹を命じられた要因となった千利休像と、天女や羅漢像、天井龍を見学し、京都を後にしました。

第三日目、金剛証寺と伊勢神宮参拝。金剛証寺は伊勢神宮の鬼門を守るお寺で、祈祷堂の中に入ると大きな柱と直径が五メートルもある「天蓋」が、すべて金箔で作られていて目を見張りました。旅の最後は、伊勢神宮にバスを進め、お神楽殿でのご祈祷をして頂き、内宮の皇大神宮（天照大神）で特別参拝を済ませて五十鈴川を後にしました。神宮会館で昼食をとり、「おかげ横丁」での散策と買い物すませ帰路につきました。参加者全員が東京を発つ時のお顔に比べて、帰りの車中での顔は笑顔で明るく和やかであったと思います。

私は今回の団参の旅で、「人生で一番嬉しい感動の日」を体験できました。妙心寺で「心の文化」に接しながら、作務をさせて頂き、感動と感謝を覚えるしかありませんでした。連日の晴天にも恵まれ目的を達成でき、この感動をサポートしてくださった東京教区の和尚様方に心から感謝申し上げます。

（岡村 大）

## お盆の支度はできましたか？

迎え火は、7月あるいは8月の12日か13日に、送り火は16日に焚いて行います。



生 菜 三 種	とうもろこし・なす・リュウリ・かぼちゃ・トマト・枝豆 など
乾 物 三 種	ひじき・わかめ・昆布・かんぴょう・高野豆腐・干し椎茸・そうめん など
菓 子	仏前だから饅頭でなければ、などという決まりはありません。亡くなった方が好きだったものや故人にゆかりの深いものなど、先祖の方を偲んで選んで下さい。
果 物	亡くなった方が好きだったものなどが良いでしょう。
洗 米	蓮の葉やサトイモの葉を敷いて、洗ったお米の水をよく切ってお供えます。茄子を刻んだものを混ぜる地方もあります。毎朝取り替え、分量はぐいのみ一杯ぐらいでいいでしょう。前日のお米は、小鳥や池の魚などに施して、粗末にならないようにしましょう。
お 水	少し深さのあるお皿に、毎朝お水をお供えて下さい。南天などの枝葉を置いておき、その草の先に水をつけて水を軽く散じます。取り替えたお水は、庭の草花にあげて下さい。
牛 と 馬	ご先祖さまの乗り物とされています。牛馬の体はナスおよびキュウリで、目は小豆、足は麻ガラなどで作ります。牛馬の食事もお供えされると、良いでしょう。

【お盆の供え物】（地域で異なりますので参考してください）  
むかえだんご おはぎ そうめん おくりだんご

※こちらはあくまで参考です。今までどおりでも何の問題もありません。（龍雲寺）  
「見てわかる仏事」臨済宗青年僧の会編集より



東京教区花園会奉仕団 大本山妙心寺参拝記念 平成26年4月12日

### ◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。

- A（一五〇×一五〇）永代使用料一二五万円
  - B（二五〇×一四〇）永代使用料一二四万円
- ABとも納骨棺、塔婆立、拝石等の外構工事費を含みます。

このままで直ちに納骨できます。右記の額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

### ◆納骨堂（お遺骨一時預り 無料）

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持って下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

### ◆NPO 東日本大震災復興支援 「浜ばっぱのぞうきん」

※龍雲寺にて浜ばっぱのぞうきんを置いてあります。  
一組四〇〇円